

北海道駒ヶ岳

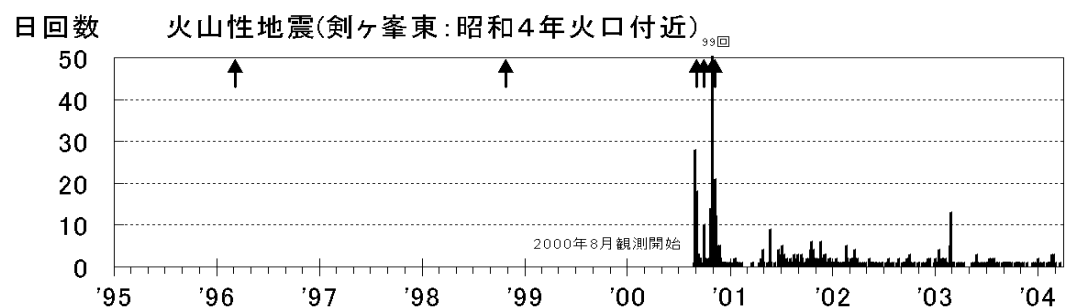
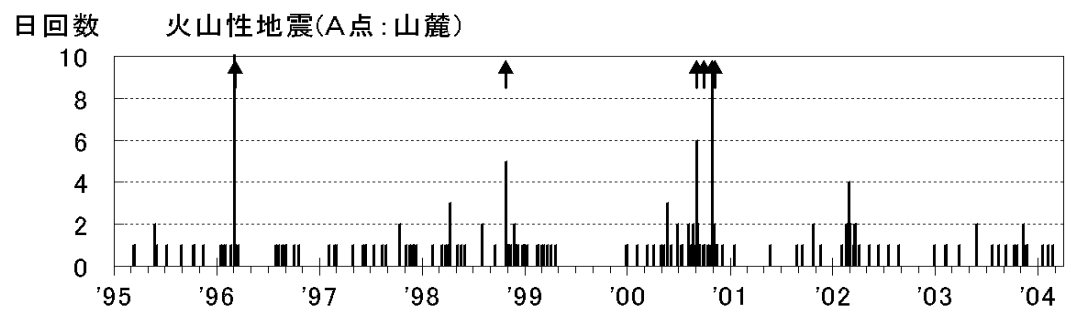
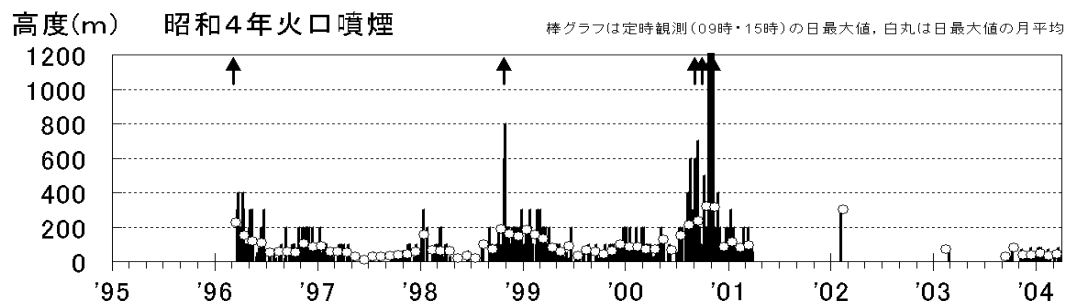
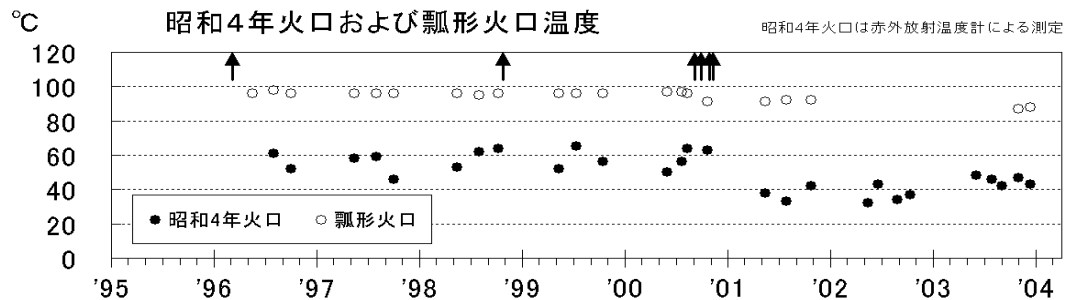
1 概況

火山活動に特別な変化はなく、静穏な状態が続いています。

地殻変動はわずかながら山体膨張の傾向が続いています。昭和 4 年火口などではこれまでと同様弱い噴気が見られています。

北海道駒ヶ岳では 1996 年から 2000 年までの間に 6 回の小噴火が発生しており、噴火発生の数年前に小噴火を繰り返した 1929 年大噴火や 1942 年中噴火の前の状況と類似しています。

火山性地震は少ない状態が続いています。



日データによる火山活動経過図（1995 年 1 月 1 日～2004 年 3 月 31 日） ↑印は噴火

2 噴煙の状況

昭和 4 年火口および 96 年南火口列からの弱い噴気が時々観測されました。噴気の高さは火口縁上おおむね 50m 程度でした。

3 地震の発生状況

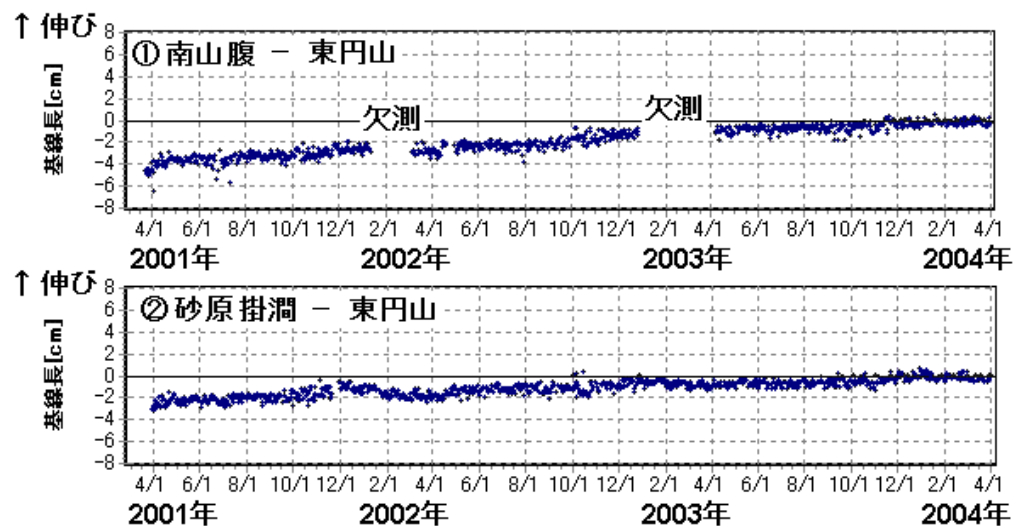
今期間、A 点で観測された火山性地震はありませんでした。地震活動は静穏な状態が続いています。火山性微動は 2001 年 1 月以降観測されていません。

月別地震・微動回数（A 点）

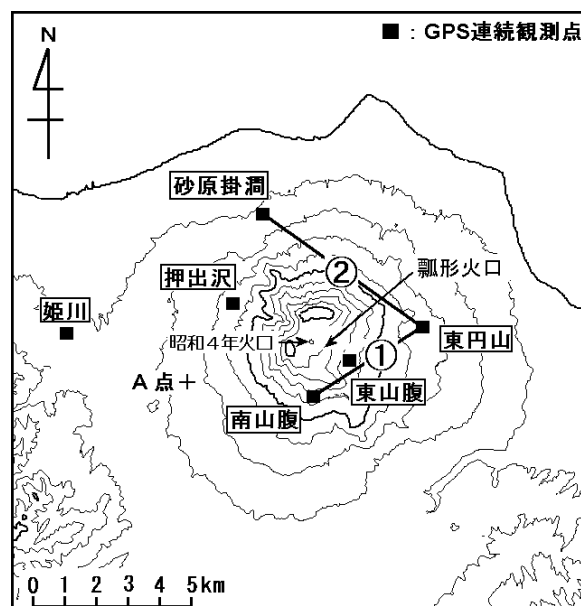
2003～2004 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地震回数	0	2	0	1	1	1	2	4	0	1	2	0
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

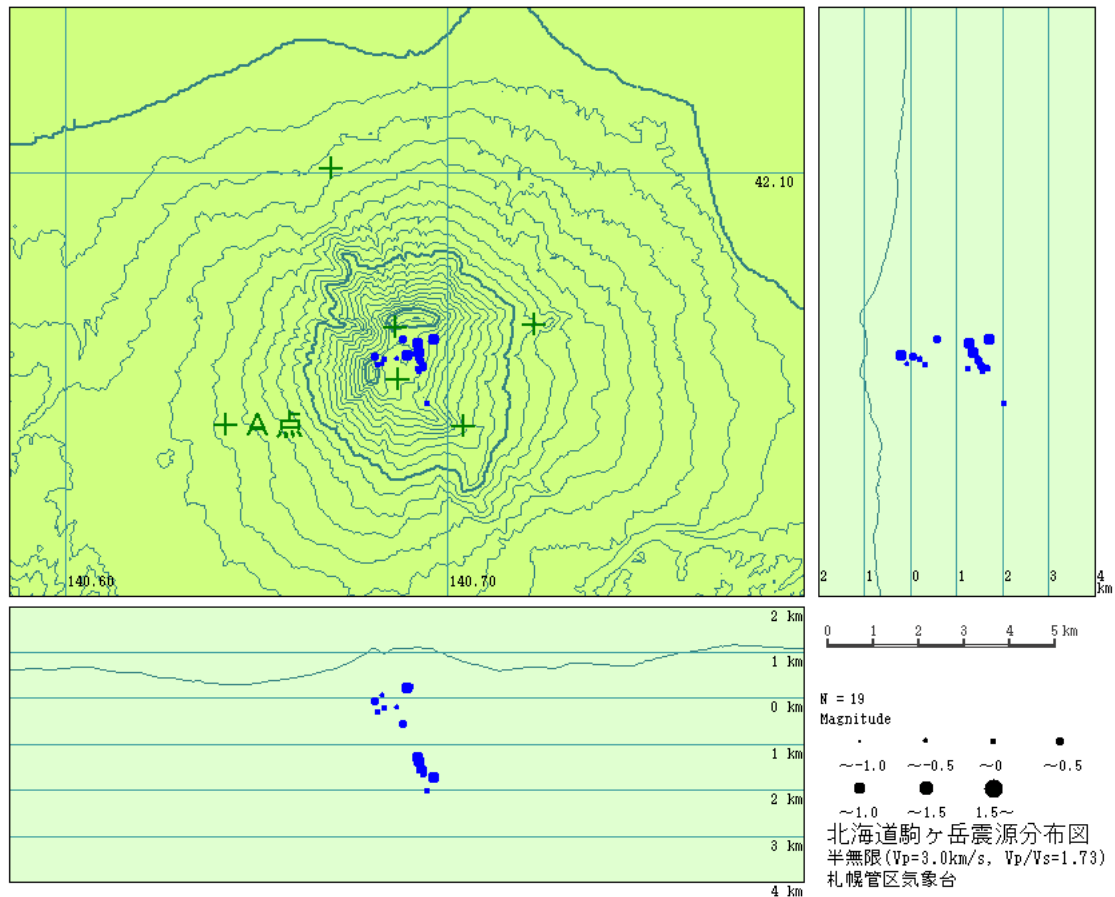
4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、引き続きわずかな山体膨張を示す基線長の伸びが認められています。



基線長変化（2001 年 3 月 23 日～2004 年 3 月 31 日）





北海道駒ヶ岳の震源分布図（丸印：震源、+印：地震観測点）

今期間（2004 年 3 月 1 日～3 月 31 日）に震源が求まった地震はありませんでした。

青丸は前期間までの 1 年間（2003 年 3 月 1 日～2004 年 2 月 29 日）に求まった震源を示しています。

過去の震源分布は大きく分けて山頂火口原直下の海拔付近と海拔下 1～2km に集中しています。このほか、山麓のやや深いところ（5～10km）を震源とする地震も時折発生していますが、十分な精度が得られないためこの図には表示していません。